

「小川和紙マラソン」ゴールは目前！ラストスパート!!



裏表紙に関連記事

特集 P.2-3
「細川紙」の紙漉き技術
ユネスコ無形文化遺産
登録から**10年**
1300年
**時代を超えて
受け継ぐ「技」**

P.6
総合福祉センター
「パトリアおがわ」の方向性
**全6部屋に
エアコン設置**
貸館業務の早期再開へ

おがわ ぎかい

No.114

2024
12月定例会

会期
12/4~12/16

埼玉県小川町議会

P.12
議員の聴く × つなぐ
和紙作りを支える
楮かしき・楮むき
を取材



P.11
本格的な議論がスタート
「議員定数を検討
する特別委員会」
16人の
大きな一歩

特別号の表紙に使用した画像は、いずれも当町が誇る「細川紙」です。右手は「細川紙技術者協会」前会長の故・鷹野禎三氏が平成14年に漉いた紙で、左手は現会長・内村久子氏が漉いた紙です。時間の経過とともに「白さ増す」和紙は、天然素材（国産楮・町内産トロロアオイ）の証。1300年を超えて受け継がれてきた伝統の「技」をさらに後世へ！議会も応援しています！和紙に合わせてあしらった2色は「紫色」と「金色」。優れて価値があり気品漂う「高貴」なさまと細川紙のユネスコ無形文化遺産登録「10周年記念」をイメージしました。

和紙：日本の手漉き和紙技術 「細川紙」ユネスコ無形文化遺産登録から10年

登録 平成26年11月27日

世界に誇る「細川紙の紙漉き技術」がユネスコ無形文化遺産に登録されてから、10年の節目を迎えました。島根様々な取組にチャレンジしてきた10年。世界遺産の「京都・元離宮二条城」を会場に開催された記念事業を取材。

県浜田市の「石州半紙」と岐阜県美濃市の「本美濃紙」と3紙連携で、イベントの開催や新商品の開発など、また、緊急企画として、日夜、技術の研鑽と継承に励む「細川紙技術者協会」の皆さんにインタビューしました。

小川町

和紙の語りべとして

小川町の魅力を、和紙が歩んだ様々な出来事を通して語り続けて20年。ユネスコ無形文化遺産登録は最大の喜びでした。10年を迎えた今、手漉き和紙を守りながら継承することが求められています。和紙に加えて原材料を活用した商品開発や和紙に惹かれる外国人も多いことを実感しており、まず小川の人々が知って内外にアピールしましょう。

新田文子図書館長



図書館では、節目を祝う展示会を開催。10年前に漉かれた細川紙の展示も。

毎年11月27日は「小川和紙の日」

条例の見直し・強化へ

細川紙を含む小川和紙全体の発展や、伝統文化の継承・産業振興に向けた取組に、それぞれの立場で努めるとした内容。「十年一昔」となった条例を、時代と実情に見合った、より実効性のあるものにすべく、ブラッシュアップしています。「チーム小川和紙」の一員でもある議会の役割・機能を明確にし、さらに強化を図っていきます。



小川和紙の日を定める条例

京都市・二条城

細川紙技術者協会 内村会長による「誓いの言葉」

この10年間で多くの先輩方が高齢化を理由に引退されました。一方で、新たな細川紙の技術保持者が3人誕生し、まさに「世代交代」の最中です。私たち正会員は、明日の技術保持者を目標としている研修員に持てるものを全て伝えていきたいと思ひます。今後も、3紙は協力し、尊重し合い、この記念事業を契機とし、改めて無形文化遺産の伝承に取り組む誓いの場とするとともに、さらなる周知・啓発と、保存・活用に尽力することを誓ひます。



12月1日京都市二条城で10周年記念イベントを開催。議員が取材に行きました



Gikai's eye

町民の皆さんの支えが頼り

ユネスコ登録から10年の節目を機に、改めて「継承」していくことの苦労と苦悩に触れた。生き残りをかけた次の10年に向けて、町民の皆さんの支えが頼りである。まもなくリニューアルオープンを迎える「道の駅おがわまち」のコンセプトの1つは「手漉き和紙」。1300年の歴史・伝統・文化を伝える施設の機能はもちろんのこと、期待するべきは「現在と未来」。これからの時代にマッチした手漉き和紙の在り方を発進していく拠点となることを望む。

細川紙技術者協会の皆さんと緊急対談

内村久子会長（後継者育成事業1期生）写真：中央
世界に認められた技で漉いた細川紙は小川町の宝物。この素晴らしさを町民の皆さんと共有していきたいです。

大木ゆき江副会長（後継者育成事業2期生）写真：左
小川・東秩父地域の風土や人々を切り離して技術だけ残していくことはできません。皆さんと一緒に町の宝・細川紙を大事にしていきたいです。

内田茜さん（後継者育成事業3期生）写真：右
細川紙は江戸時代から「大切なことを伝えるための紙」として利用されてきました。歴史と伝統がある紙漉き技術を継承し、これからも研修に励みます。



「職人」の維持と誇りが伝わる数々の言葉



ワークショップでの水切り工芸体験

3紙連携で持ち味を生かしたワークショップを開催



インバウンドを含む来場者に紙漉き技術を披露する中野晴実さん

時代を超えて受け継ぐ唯一無二の技

議員が質した聞いてわかった 私たちの町、どうなってる？

今次定例会（12月4日～12月16日）では、令和7年4月の「小川中学校開校」に向けての準備や、パトリアの基本的方向の決定、さらに物価高騰に伴う学校給食への補助など一般会計補正予算（第5号）を審議しました。また風の子学童クラブが、保護者負担軽減のため「指定管理」となる条例改正など、18議案を審議。その中から町民生活に身近な質疑をピックアップします。



発言全文（小川町議会会議録）は3月上旬から議会ホームページで閲覧できます。

一般会計補正予算

小川中学校の開校に向け取組が加速 未来に繋ぐ想いを紡いだ「校歌」の制作へ

Q 作詞・作曲ともに、どのようなコンセプトを持って制作しているのか。

A 中学校統合準備委員会に設置している作業部会において、制作手法やコンセプト等を検討し、作詞及び作曲を行ってもらえる方を選定したいと考えています。

特にコンセプトについては、町の自然や歴史が盛り込まれ、中学生が歌いやすい曲調となるよう進めていきます。また、令和7年秋頃に実施の「小川中学校開校式典」で発表を予定しています。

遠距離通学の生徒を支援

Q 「電動アシスト付き自転車」の購入補助が示されたが、対象は。また、安全を考慮した通学路など、距離の算定は適切か。

A 新たに開校する小川中学校と現東中学校に通う予定の新1年生から3年生の中で「自宅から学校まで5キロメートル以上の生徒」と「体力的に配慮を要する生徒」を対象としています。

補助額は、1人当たり5万円を上限とし、購入額の2分の1までとなります。また、通学距離については、安全性を考えて遠回りするなどの経路を想定し、計算しています。

駐輪場の改修工事

Q 当初予定していた角山地内への整備を取り止め、現樺台中学校の駐輪場の改修に変更となったようだが、経緯等は。

A 令和7年4月の開校に合わせて測量や造成・整備工事を予定していたため、先行して予算確保が必要な状況でした。

一方で、その後の統合準備委員会や学校側から「校舎・職員室からの視認性や管理が困難」「街路灯がなく、人通りが少ない」「西中学校との統合では既存駐輪場の改修で対応可能」などといった意見を聞く中で、当初の予定から変更となりました。今後は、同様の状況が生じないよう、関係者・関係課との情報共有と意見交換を慎重に行い、計画的な予算計上に努めていきます。

小川真歩さん（西中2年生）
距離が長くなり、急な坂が多くなるけど、毎日しっかり通学したいです。

大澤 聖さん（西中2年生）
距離が長くなるけど、交通マナーを守り安全に登校していきたいです。

高荷さくらさん（西中2年生）
小川中になると、通学路が変わり、坂道が多くなるので、時間に余裕をもって登校していきたいです。



新校開校に向けた営繕は

Q 示された営繕費には「校舎の外壁塗装」は含まれていないようだが、今後の方向性等は。

A 開校に向けた改修については、これまでに教室の空調設備やトイレの洋式化、照明のLED化、体

育館床の補修など、生徒の学校生活に影響が出ないよう「内装」を優先して行ってきました。

また、今回の予算では「樺台中」から「小川中」への校名や校章の変更に必要な工事等を予定しています。校舎の外壁塗装は、樺台中開校から25年以上が経過している

キュービクルの更新

ため、外壁改修も含めた対策が必要と捉えています。国の補助制度を活用し、開校30年となる令和10年度の実施を見据えて取り組んでいきます。

Q 「リリックおがわホール棟の解体」に向け、約1億円の施設改修費等が示されたが、詳細は。

A 現在使用中であるコミュニケーション棟の電力供給を確保するために、予定しているホール棟の解体に先立って、キュービクル（高圧受電源）の更新を要しています。

また、現在の受変電設備は、ホール棟機械室の屋上に設置され、老朽化も進んでいますので、対策が必要です。

更新工事に係る設計図書や品質を満たしているかなどの管理業務を含む予算となっています。

ローラー滑り台の不具合

Q 「仙元山見晴らしの丘公園」のシンボルでもあるローラー滑り台のローラー交換が必要とのことだが、状況等は。

A ローラーの経年劣化で、次々と不具合が発生している状況です。部品は受注生産であり、ある程度の数をまとめて発注すると単価を抑えられるため、今後の修繕に備える分とを併せて、ストレート用100本とカーブ用300本で計400本を購入します。

また、受注生産のため、納品に期間を要しますが、工事は2週間程度を予定し、令和7年4月の「道の駅リニールオープン」までには修繕の完了を見込んでいます。

Q 不具合・修繕に伴って、運営協力金96万9000円の予算も示されたが、詳細は。

A ローラーの劣化による滑りの悪い箇所が多数あり、有料での運営が難しい状況にあるため、修繕が完了するまでの間（令和7年3月25日迄）は利用料を「無料」とすることにしました。

指定管理者の運営に対する利用料の補填として、過去3年間の月別利用料から平均額を算出し、支出するものです。



11月13日に行われた、西中・樺台中の合同生徒総会及び合同レク。統合に向けて、互いの良さを持ち寄り、新たな生徒会の在り方を議論。「校内かくれんぼ大会」などのレクを通じて「心の交流」も活発に進んだ。



小川町議会だよりは

町民登壇に「タワウル」

広い年代の皆さんに、たくさん登場していただきます（裏表紙も）ご覧ください。

延長されていた施設転換スケジュール

『パトリアおがわ』方向性示される

パトリアをめぐる経緯

「浴室・プールを休止する方針」に端を発し、その後の機能転換が注目されていた「パトリアおがわ」の方向性が示されました。全館空調の故障など、設備の老朽化対策が課題となる中で、将来人口を見据えた持続可能な施設の在り方について、議会も注視しています。

【経緯】

2019年9月 町が議会に説明
2020年3月末で浴室・プールを休止し、健康増進・介護予防に取組む方針が示された。
2019年11月 住民説明会を受け執行部と厚生文教常任委員会を中心に議論を継続。
2019年12月 請願審査
「パトリアおがわプール、浴場継続検討を求める請願」不採択
2020年2月
新型コロナウイルスの蔓延。施設転換スケジュールが延長。
2024年11月 町が議会に説明
下記の方向性が示される。

【示された方向性】

- 空調設備の改修には多額の経費がかかることが想定されるため、施設の在り方を含め、次のような方向性が示された。
- 一 現在の機能を維持することを前提に継続
 - 二 できる限りその他の老朽化した町有施設の複合化・集約化
 - 三 貸館については、個別のエアコンを設置し、早期の再開を目指す（工事は令和7年実施予定）

※エントランス等の空調は、複合化・集約化の際に更新を検討



空調設備が故障中の「生きがいホール」。しばらくの寒暑は可動式のジェットヒーター及びスポットクーラーで凌ぐ予定です。

貸館業務の早期再開は

A 委託料の説明を。
現在休止中の貸館業務を早期に再開するため、使用する研修室など全6室に単独運転可能な空調設置工事を行うための設計業務を委託するものです。

Q 「パトリアおがわ」需用費の説明を。

A 施設内の窓ガラスの破損やエレベーター部品交換、機械設備の老朽化に伴う修繕等、突発的な修繕が多く発生したことにより修繕料に不足が生じたものです。

小川学童クラブ 指定管理者の指定

小川学童クラブの指定管理者を決定 保護者の負担軽減と持続的な運営へ

Q 学童保育の運営を民間委託するメリットや効果等は。

A 保護者会運営の中では「会計等の負担」や「個人情報取扱いへの抵抗感」などが課題とされ、民間委託を希望する声が強くなりました。放課後児童の居場所として学童クラブの重要性は増している状況で、支援員の処遇改善や運営基準等への対応も複雑化しています。ノウハウを持つ事業者に委託することで「保護者の負担軽減」を図るとともに、職員研修の向上等の効果が期待できると捉えています。

Q 既に八和田学童クラブの運営を担っている事業者が選定された。示された事業計画にある「バラエティ豊かな行事」等の実現に向けた連携・協力は。

A 事業者独自の計画があり、町の地域特性に合わせた行事を展開



運営が変更されても「今までどおりの過ごし方ができること」や「開室時間が延びること」など、柔軟に対応してもらえると説明を聞いたので、ホッとしています。子どもたちが安全で楽しく過ごせる場となるよう期待しています。

国島奈津子さん(下里四)

明希さん(1年生)



他12議案は
全員賛成で原案どおり
「可決・同意」しました

議員の賛否内訳と審議結果

○…賛成 ×…反対
一印…議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

公開します

議決結果はHPでも見られます→

審議した主な議案

議案名	田中立男	関根慶則	岡部久志	田端良成	稲村壤治	鈴木秀尚	五十嵐康博	笠原規弘	大戸久一	田中照子	笠原英彦	高瀬勉	高橋さゆり	山口勝士	島崎隆夫	高橋功人	審議結果
小川町一般職の職員の給与に関する条例及び小川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長及び副町長の給与等に関する条例及び小川町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
小川町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
小川学童クラブの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度小川町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
小川町地域活性化交流拠点施設備品売買契約の締結について	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

石州半紙の展示館見てきました。小川も頑張りましょう！
(S・Yさん 60代)



和紙にまつわる
エトセトラ

Vol.28

Mini Interview P10までつづきます！
オガワマチのこと・ギカイのこと
「一緒に見よう、考えよう」

私の和紙感は「素朴で本物」。今、欲しいのは、和紙のマスクケースと包装紙です。(T・Zさん 70代)



普段使用している紙とは違い、特別感があります。卒業証書が和紙なのは、貴重ですね。(F・Tさん 17歳)



小川町議会だよりは

写真に「コダワル」

写真は編集委員が「撮る」「選ぶ」。キャプション（写真説明）も工夫します。



小川町議会だよりは

情報にコダワル！

用語解説はじめ関連情報への二次元バーコードなど「読者目録」の編集を心がけます。

つづく！

公共施設

学校再編後の跡地の活用は

Q 跡地の活用には、地域の声や意見に加えて、今後の町としての観点も重要である。どう考えるか。

A 政策推進課長
立地条件による制約や跡地活用に係る費用等、さらに町全体の公共施設在り方など、全庁的な課題の共有や協議が必要と考えています。

Q 町の考え方や情報は、適切に住民に提供されていくのか。

A 政策推進課長
今後も住民の皆様に適

●その他の質問
「道の駅」から町なかへ

廃校になる5校の検討が始まる

安全・安心

防犯カメラの設置は

Q いわゆる「闇バイト」による強盗・特殊詐欺事件に多くの町民から不安の声を聞く。学校教育での啓発は、適切なスマートフォン利用を指導し、情報モラルの育成を図ります。闇バイトの具体的な事例など、校長会を通して資料の活用を周知していきます。

Q 防犯カメラの設置が必要と考えるが。

A 防災地域支援課長
犯罪防止に大きな効果

防犯カメラ付き自動販売機

環境保全

田畑・山林へ積極的な関与を

Q 田畑においては、「地域計画」策定のための説明会だけでなく、今後はさらに話合いの機会を持つべきでは。

A 環境農林課長
計画策定後も、将来に向け、より実情に合った取組にするために話合いを続けていきます。

Q 山林においては、個人や多くの森林を有するゴルフ場などの企業と、管理に関する話合いの機会が必要では。

A 環境農林課長
まず、人工林では、関

保全対策が必要な樹木(ナラ枯れ)

公共施設

学校再編後の跡地の活用は

答弁 全庁で課題を共有し協議していきます

山口勝士議員が町に問う！

安全・安心

防犯カメラの設置は

答弁 設置基準や管理運用規則を作成中です

高橋さゆり議員が町に問う！

環境保全

田畑・山林へ積極的な関与を

答弁 地域の現状や課題を把握し保全に努めます

島崎隆夫議員が町に問う！

和紙といえば、子供の卒業証書。大切に保管しています。(O・Nさん 40代)

和紙製品を友人へのプレゼントに。皆、喜んでくれました。(N・Yさん 60代)

8の視点

一般質問

皆さんはどのテーマに関心がありますか？

P.8 企業支援	P.9 環境保全
P.8 地域防災	P.10 インバウンド
P.9 公共施設	P.10 マイナ保険証
P.9 安全・安心	P.10 環境基本計画

「歩いて・見て・聴いた」ことを踏まえ、議員が自身の提言を交えて町に考えを質す。

最長75分までの論戦。事前の準備はもちろんのこと、再質問を展開しながら、いかに前向きな答弁を引き出せるか。町民の想いを背に8人が登壇した。

企業支援

既存の事業所への支援策は

Q 既存の事業所への支援策は。

A にぎわい創出課長
労働生産性の向上を図るための設備を新規導入した場合、該当する設備に係る固定資産税を3年間減額する税制支援をしています。

Q 企業を迎える町の体制は。

A にぎわい創出課長
職員は専門知識の蓄積に努め、企業への情報提供など案件に応じた対応を行っています。

Q 健康福祉課長
デフレインピック
児童生徒や手話奉仕員を志す方へ、デフレインピックの観戦を。手話への関心や理解普及を促すきっかけになると考え、実現の可能性を研究します。

Q 固定資産税の税制支援をしています

交通アクセスを生かした企業立地支援を

地域防災

避難所に民間協力の要請を

Q 一時的緊急避難場所として、民間への協力要請の考えは。

A 防災地域支援課長
災害の激甚化・頻発化により、大規模な水害の際には、公共施設のみでは収容スペースの不足が想定されます。開設のタイミングと判断等、解決すべき課題も多くありますが、官民連携による一時避難場所や地域避難場所を確保し、町民の安全・安心並びに、防災体制充実を図っていきます。

Q 集会所への設置は。

A 健康福祉課長
集会所等への設置には課題もあり、現時点では難しいと考えます。行政区の行事に対し、貸出等の対応があるため、周知に努めます。

Q 官民連携により充実に図ります

AEDの設置

救うことのできる命のために

伝統を感じるシンボリック的存在。卒業証書やコサージュの和紙を渡した思い出があります。(A・Sさん 17歳)

小川和紙を使った風船爆弾があったことを知ったときショックでしたね。(T・Sさん 56歳)

令和7年9月定例会で報告 「議員定数検討特別委員会」を設置！ 本格的な議論がスタート

今次定例会で、議員定数検討特別委員会を設置した。早速、12月11日に第1回委員会を開催。人口が減少する中でも、行政需要は増加し、議会に対する要望・期待も増している。議員定数削減か現状維持か活発な議論が期待される。

委員長 山口勝士 副委員長 笠原規弘
委員 島崎隆夫・鈴木秀尚・関根慶則・田中立男・岡部久志・田端良成



山口委員長コメント
委員会として「削減する・しない」の結論ありきではない。議会や議員が、住民から指摘される課題は多く、多様な考え方が交錯する。それだけに「定数」に対して結論を出すことは容易ではない。大切なのは結論への丁寧な説明・根拠である。そのためにも委員による自由で活発な議論をリードしたい。眠れぬ夜が続きそうだ。

令和7年1月24日 大正大学 江藤俊昭氏の研修を実施 テーマ 議員定数を考える視点と課題

議会は住民自治の根幹である。削減か現状維持か、議論は尽きない。そこで1回目の議員定数検討特別委員会では、地方自治・地方政治が専門の江藤俊昭先生を招き、研修を受けることとした。全議員参加の研修の成果はいかに。今後の議論に生かしていく。



多様な意見が飛び交い白熱する特別委員会

議員提出議案

議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

議会議員の期末手当を0.1か月分引上げ

昨年度に引き続き、人事院（国）及び人事委員会（埼玉県）からの勧告を尊重し、期末手当の引上げを行った。また、町長・副町長・教育長・町職員の期末手当等の引上げに関する各議案も全会一致で可決した。



今回も「議員提出議案」として上程し、全会一致で期末手当を引き上げた。過去には、2度にわたる引下げも行ってきた。現在進めている「議会の改革・活性化」の取組の中で「議員報酬等の在り方」についても見直しを図っていく。

シリーズ

16の一步!!

進み続ける議会

令和5年9月定例会号（No.109）から始まったこのシリーズも6回目を迎えた。議会主催の（仮称）「地区懇談会」と同じく重要な議員定数の検討が本格化する。

観光客の移動ニーズに対応して、公共交通機関や、商業・観光施設などの交通分野以外のサービスを連携させて、ワンストップで提供するサービス

インバウンド



い が ら し や す ひ る
五十嵐康博議員
が町に問う！

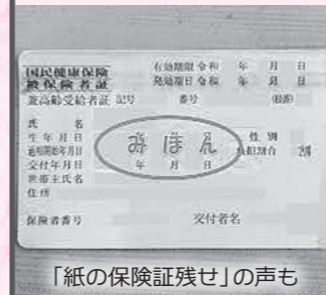
**誘致に向けた
具体的な取組は**
答弁 体験ツアーの実施
などを推進しています

Q インバウンド誘致に向けて、町が進める具体的な取組は。
A にぎわい創出課長 観光パンフレットの多言語化や、和紙・酒造りの体験ツアーの実施、観光マース（国）アプリの開発支援など、地域の特性を活かした取組を推進しています。
Q 住民生活に与える影響をどのように考えているか。
A にぎわい創出課長 地域活性化に有効な手段と考えています。観



地域活性化への新たな挑戦

Q マイナ保険証の利用は強制か。また、国に対して「紙の保険証を残す」要請を。
A 町民課長 強制ではありませんが、マイナンバーカードの普及に向け、申請や受け取り・利用等について、広報紙・ホームページで案内し、利活用の拡大に努めています。今後、マイナ保険証を安心して利用できるよう取り組んでいきますので、国に対する「要請」は考えていません。



「紙の保険証残せ」の声も

Q 有機農業で生産し
Q 環境農林課長 町民と事業者の協力を得ながら、継続して自然環境や生活環境の保全に取り組みます。
Q 有機物の過積載等、住環境を損なう動きが散見されるが。
A 環境農林課長 関係機関と連携して適正な管理となるよう原因者に対する働きかけを行っています。



冷めても変わらぬ美味しさ！

マイナ保険証



た な か た つ お
田中立男議員
が町に問う！

**紙の保険証を
残す要請を**
答弁 国に対する要請は考えていません

Q 財政調整基金を活用し、町民の暮らしを守る支援・対策を。
A 政策推進課長 物価高騰対策は、国から交付金があった場合、速やかに効果的な事業ができるよう努めます。

環境基本計画



す ず き ひ で な お
鈴木秀尚議員
が町に問う！

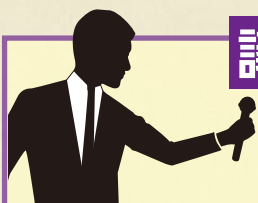
**計画の趣旨を
生かす取組は**
答弁 自然環境や生活環境の保全に取り組みます

Q 環境農林課長 町民と事業者の協力を得ながら、継続して自然環境や生活環境の保全に取り組みます。
Q 有機物の過積載等、住環境を損なう動きが散見されるが。
A 環境農林課長 関係機関と連携して適正な管理となるよう原因者に対する働きかけを行っています。

Q 環境農林課長 米穀店を通しての流通・保護者が負担する主食費の範囲内での提供等を調整し、実現の可能性を研究します。
●その他の質問
補聴器購入の補助

以前、演奏会用のベストを和紙で作ったところ、様々な色合いが混じった個性的なものになりました。（E・Mさん 70代）

手紙を紙に書くことも減ってきたけど、和紙の風合いは、ペンを持ちたくなるね。（S・Sさん 58歳）



議員の

聴

く

×

つ

な

ぐ

和紙作りを支える 楮かしき・楮むき を取材しました

寒い中での手作業。皮が途中でさけることがないように、丁寧にむいていく地道な作業です。この後、不要な部分を取り除く等、数度の工程を経て乾燥した状態の原料となり、紙漉き職人さんの手元に届くことになります。

少しでも早く職人さんに届けるためにがんばっています。ただ、人手不足で3月末まで作業がかかってしまいます。

楮作りから紙漉きまで、全工程に携わりたいと思い、取り組んでいます！



楮むきのイベントへの参加をきっかけに、移住をしてしました(笑)。

力を合わせて楮むきをする和紙工業協同組合の皆さん

紙漉きは冬が本番。手がかじかむ中で作業が続きます。私も体験しました。きれいにむくのはとても難しかったです。こうした苦労に応えるためにも和紙の日常使いをしたいものです。

取材者 鈴木



次の定例会は **2月28日(金)～** 午前10時 開会予定

※日程は変更になる場合があります。詳しくは小川町ホームページへ



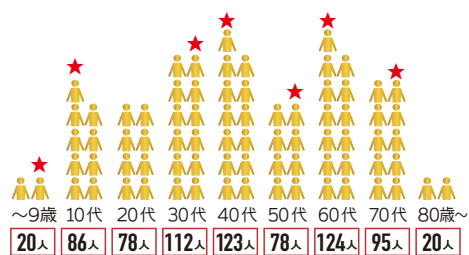
議員の

議員がインタビューした町民皆さんの数

聴く×つなぐ

※2016年5月リニューアル号 (No.79) 以降の合計人数

736人 (★印は今号取材)



●今号の表紙●

第32回小川和紙マラソン大会

「和紙」を冠したマラソン大会は唯一無二で、七夕まつりに次ぐ当町の大イベント。「ランナーの勇姿」と「ボランティアの支え」に感謝！

編集後記

取材の数だけ出会いがあり、学びがありました。小川和紙とは小学校以来の再会で、過去から脈々と続く和紙を未来に伝えることは重要だと学びました。全ての出会いに感謝し、次の出会いと学びは何か……楽しみです。(田端)

発行責任者：小川町議会議員 高橋功人

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 山口勝士 副委員長 鈴木秀尚

委員 高瀬 勉・関根慶則

岡部久志・田端良成



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD (ユニバーサルデザイン) フォントを使用しています